

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2025年12月15日
第47号

3名最高の演奏披露、入賞まであと一歩

12月上旬、第35回日本クラシック音楽コンクールがパルテノン多摩で開催され、荻野華奈さん(クラリネット、3-3)、山本侑来さん(ホルン、3-3)、川越未遥さん(サクソス、2-2)が出場し、谷津祐子先生のピアノ伴奏でそれぞれ演奏した。

各々、最高の演奏を披露したが、入賞(5位まで)には届かなかった。



左から水澤先生、荻野さん、川越さん、谷津祐子先生

評価が自信に

山本侑来さん

モーツアルトの「ホルン協奏曲3番第1楽章」を演奏した山本侑来さんの約30名のホルン奏者の中で上から5番目の点数(90点満点の84点)を獲得した。結果発表では、今回は1位、2位は該当者なしで、3位から5位までの発表となった。

「音楽を専攻する高校生や海外留学生もいて、素晴らしい演奏をしていた。今回、自分では思い通りにいかないところもあったが、日本で一番の



↑山本侑来さん
川越未遥さん→



全国のレベルに圧倒

川越未遥さん

サクソスは約50名が出場し、川越未遥さんは「プレリユード

奏者に評価されたことで自信を得ることができた」と振り返った。札幌大谷大学でさらに研鑽を積むという山本さんにとって貴重な経験になったようだ。

とサルタレロ」(ロベール・プラネル作曲)を演奏した。

控室で他の人の演奏を聞き、全国のレベルの高さに驚いたという。実は練習場所に忘れ物をしていたところ、演奏を終えた人が貸してくれた、本番の演奏ができたとのこと。「出場者はライバルなのに、他者への思いやり、配慮ができる人がいて心を打たれた」という。ちなみにその人は入賞できた。

川越さんはそんなハプニングもあり、81点だったが、「勉強になった大会だった。次に向けて、まず基礎的なことをしっかりと身に付け、さらに色々な曲に挑戦してレパートリーを増やしていきたい」と意欲を見せている。顧問の水澤先生は「川越も荻野も今までで一番の演奏をしてくれ、感動した」と話している。



(右写真、川越未遥さん)

飛行機欠航にもめげず

荻野華奈さん

クラリネットで「ソロ・ド・コンクール」を演奏した荻野華

奈さん。40人位が出場していた。3年生で最後の演奏になるので、気合いを入れていた。だが、悪天候で飛行機が欠航し、コンディションはベストではなかった。でも、気持ちで乗り越えた。「本番でミスはあったが、最後まで楽しく演奏できた」と悔いはない。「会場のパルテノン多摩は北海道にはないとても響くホールで気持ちよく演奏できた」と語っている。点数は82点だった。



(右写真、荻野華奈さん)

3名とも入選 この経験を生かしてほしい

顧問の水澤先生によると3名とも入選とのこと。8分間暗譜でそれぞれすばらしい演奏をしてくれたという。全国大会で演奏するという貴重な経験は今後の人生に大きな糧となるだろう。川越さんはまだ2年生で部長も務めているので、今後の活躍が大いに期待される。